

**English-Language Abstract of Japanese Reference 5:  
Japanese Unexamined Utility Model Application Publication No. JP 51-86821 U**

A pipe joint construction comprising: an inserted pipe section A with a stopper body F attached to an external surface of the inserted pipe section A, and a receiving pipe section B having a groove 3a, wherein the pipe sections A, B are connected in a retained manner by inserting a projection 14 formed in the stopper body F into the groove 3a, rotating the stopper body F about a pipe axis direction of the receiving pipe section B, and fixing the whole stopper body F by a screw G, and the stopper body F is in the form of a pair of semicylindrical elements.

⑤ Int. Cl.<sup>2</sup>

F 16 L 21/02  
F 16 L 21/08  
F 16 J 15/14

⑥ 日本分類

65 A 311  
53 D 431

⑩ 日本国特許庁

# 公開実用新案公報

⑪ 実開昭51-86821

庁内整理番号 6705-26  
6573-31

⑬ 公開 昭51(1976).7.12

審査請求 有

## ⑭ 管継手

⑯ 実 願 昭50-2856

⑰ 出 願 昭49(1974)12月29日

⑱ 考 案 者 松浦正典

浦和市本太1の13の11

⑲ 出 願 人 栗本排水管工業株式会社

岩槻市大字黒谷1620

⑳ 代 理 人 弁理士 鎌田嘉之

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

筒形になり外周壁に周方向のテーパ突条1も設けてなる差口用管Aに、リング状になり内周壁にテーパ内壁12を、外周壁にテーパ外壁13をそれぞれ形成してなる断面横むきL字形のガイドリングEを外装して、上記テーパ突条1とテーパ内壁12とを嵌合し、さらに弾性を有するリング形からなり、肉厚になる大径部9と、やや肉厚にな

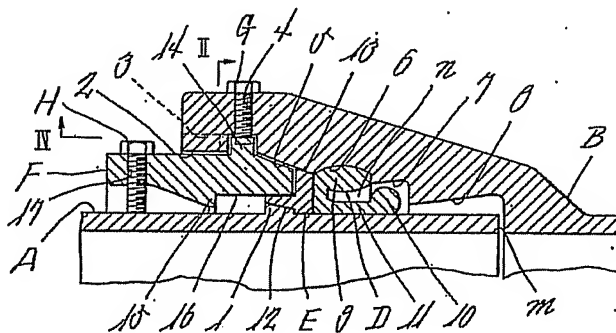
る小径部10と、該小径部と大径部9とを肉薄のシート部11により一体的に連成した断面略U字形のシート体Dを前記差口用管Aに外装すると共に、上記ガイドリングE寄りに固着して、該差口用管を筒形の受口用管B内に挿入し、該管内の条溝6内に弾性に抗して大径部9を嵌合収納するようにしたことを特徴とする管継手。

## 図面の簡単な説明

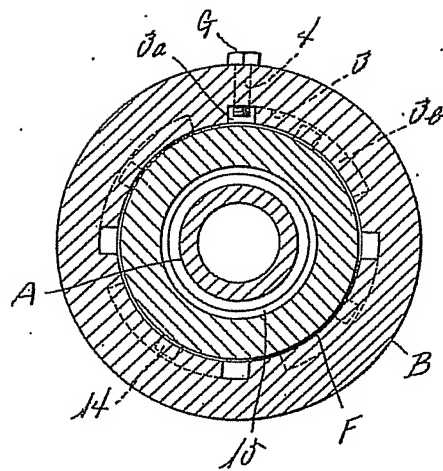
第1図は本考案の実施例をしめす接続完了状態の断面図、第2図は同上をII線からみた断面図、第3図は第1図の要部を切欠拡大してしめす断面図、第4図は第1図をIV線からみた切欠拡大断面図である。

A…差口用管、B…受口用管、D…シート体、E…ガイドリング、1…テーパ突条、12…テーパ内壁、13…テーパ外壁、9…大径部、10…小径部、11…シート部、6…条溝。

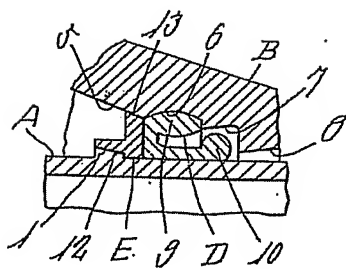
第1図



第2図



第3図



第4図

